

麻しん・風しん疑いと診断された方へ

感染を広げないために人と会うことを避けてください



麻しん、風しんにかかったことが無い人

予防接種を2回受けていない人

に対しては特にうつりやすく、注意が必要です

- 診断が出るまでの間は外出を控え、できるだけ人と会うことを避けてください。
- 陽性が判明した後の行動については、保健所の指示に従ってください。



症状が悪化し、再受診したい場合は**事前に医療機関へ電話で相談**してください。

- 医療機関に、麻しん・風しん疑いと診断されていることを伝えてください。
- 待合室などで感染が広がらないよう、入り口や診察室を他の患者さんと分けることがあります。受診時は医療機関の指示に従ってください。

麻しん・風しんの検査及び調査に御協力ください



血液、のどを綿棒でぬぐったもの、尿の採取について御協力をお願いいたします。採取した検体は群馬県衛生環境研究所に送付され、麻しん・風しんウイルスの詳しい検査が行われます。

感染症法に基づき医療機関から保健所にあなたの氏名や連絡先の情報を提供します。保健所は、感染症の流行を予防するため、聞き取り調査を行います。また、周囲の感染が疑われる方に対して健康観察を行います。必要に応じて緊急ワクチン接種の御案内をいたします。

ま

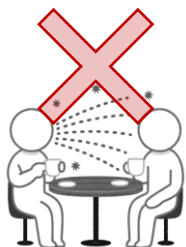
麻しん(はしか)とは



- 飛沫感染、接触感染に加え、空気感染を起こすため、**非常に感染力が強い**です。市販のマスクだけでは感染を予防できないことがあります



- 麻しんに対する免疫を持っていない人が感染すると、**ほぼ100%発症**します。



- **熱が下がった後も3日程度は、他の人にうつす可能性**があります。

ふう

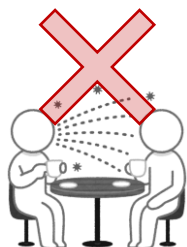
風しん(三日はしか)とは



- 妊娠中の女性が風しんウイルスに感染すると、赤ちゃんの目、耳、心臓に障害が現れることがあります。



- 飛沫感染、接触感染によりうつります。やむを得ず人と会うときは**不織布製マスク**を鼻からあごまで覆うように着用しましょう。



- **発症後、1週間程度は、他の人にうつす可能性**があります。特にこの期間は、妊娠中の女性と会うことは避けましょう。